（議事概要）

第2回 徳島県観光スポーツ文化部指定管理候補者選定委員会
＜徳島県立航空旅客取扱施設＞

日時：令和8年10月7日（水）10時20分～11時10分
場所：県庁7階　選挙管理委員会委員室

徳島空港ビル株式会社　提案説明

質疑応答

（委員）

　徳島空港さんはしばしば利用させていただくんですけど、非常に「おもてなし」の笑顔ですとか、スタッフの方たち、乗り場のところの方とか、皆さんすごく感じのいい接客ができているなっていうのは感じます。ですが、近年災害が多く、飛行便の欠航や遅延っていうのが結構な頻度で起こっておりまして、その場合、空港から動けない乗客が結構いると思うんですね。そのための備品や訓練、マニュアルは作ってらっしゃるということなんですけれど、実際徳島空港に人が泊まる、乗客がそこに泊まったりすることに対する対応っていうのはきちんと設備とかあるのでしょうか？

（申請者）

　危機管理規定でいろいろな災害とか、台風もありまして、900人が3日間常時泊まれるような毛布、飲料、そういったものを用意し定期的に見直して補充しています。欠航とかも最近ではちょくちょくあるのですけど、航空会社に関しましては、例えば神戸駅へのリムジンバスを用意すること等で対応してました。最近私自身で乗客が泊まった記憶はないのですけれど、顧客の利便性を一番に考えて対応できていると自負してます。

（委員）

　例えば最終便が欠航になった場合、できれば一旦市内に帰る臨時バスですとか、神戸ぐらいでしたらバスとか。それと割と土地が低いので、周りが冠水したりとかいうことはないんでしょうか？

（申請者）

　徳島空港の設置している場所は、ハザードマップによりますと、浸水しないエリアとなっています。

（委員）
　台風とか近年の大雨の場合は、むしろ空港にいた方が安心だという風になっているのでしょうか。

（申請者）
　津波等の時はそういう避難場所として指定を受けております。ターミナルビルの３階が高いところにあり、避難場所としても指定されております。

（委員）
　近隣の人が来るということもあるんですね。

（申請者）
　つい先日も松茂の工業団地の人たちが避難するという訓練もやったりしています。

（委員）
　９００人と言ったらそういう意味合いもあるということなのですね。

（申請者）
　そうですね。飛行機１便で大体１８０人ですから、９００人が３日過ごせるような設備というか飲料水、毛布等を常備しております。

（委員）
　今の関連なのですけどね。南海トラフみたいな地震があって、例えば津波が来る。それってやっぱり入ってこないものなのですかね。東日本級みたいなのが来た場合、それはどういう風に認識されているんですか？

（申請者）
　基本的には入ってこないとなっているのですけれど、入ってくることももちろん想定しておりますので、津波警報が発生しましたらお客様には3階にご案内して、そこを滞留場所とするという規定になっております。空港の滑走路は微妙に傾斜がついていまして、滑走路の東側の方が一番高いということになっています。空港ビルのターミナルがある側が高くなっている。

（委員）
　あ、なるほど。

（申請者）
　だから想定では基本越えてこない想定になっていて、浸水もしない。だから逆に西側にいらっしゃる方が空港ビルターミナルの方に移動してくる。ただ周りが低いということになりますので、道路等は一時的に浸水して往来しにくくなる可能性というのはあるかなと思っています。それもあってやっぱり3日間ぐらいは備蓄しておく。また備品につきましても1階には置かず、2階以上に置いてあります。

（委員）
　事業計画の方なのですが、収入額が全く同じでずっと行くという感じで人件費は毎年上がっていくという試算をされていて、で最終収支が一緒になっているのでどうなっているのかなと思いました。修繕費が毎年下がっているという感じになっているのですが、これって大丈夫なんですか。というか、なんかちょっと数合わせでやっているのかなという感じがして。逆にその収入をもう少し上げるとかそういう工夫をすると後ろの方のページには書かれているんですけど、収支対策についての考え方、具体的に書かれているんですが、その計画のことはここには反映されていないなと思ったので、そのあたりはどうなのかちょっとお聞きしたかった。

（申請者）
　収入に関しましては、これは韓国便が週 3 回、現在就航しています。それを年間で想定しています。今後新規路線も誘致をしていかないといけないということですけど、まだ決まってないことを書くわけにもいかず、現状を書かせてもらっています。この固定費とか、支出につきましては、保守的にやっている部分もあるんですけど、人件費につきましても8％程度の人件費、あるいは我々も今後新規路線誘致、既存路線維持ということで結構積極的には関わりたいと思っていますので、出張費を計上しているということです。また、水道光熱費あたりも昨年よりは物価高ですから上げて算出しております。

（委員）
　修繕費が下がっていく試算は無理があるんじゃないかなという気がしたので。

（申請者）
　これは昨年よりも増やしています。年数は経っていますので、年間によって違いますし、中期修繕計画に沿ってこういった計画を立てているというところでご理解いただけたらと思います。修繕費の方なのですけれども、最初の頃の方が多くてだんだん下がっているというところは、予定している大きな空調設備のオーバーホールですとか、

その辺が 10 年経つというところでそろそろやるというところ、それが最初の頃に入ってきているので、大きなものを最初の 3 年くらいでやって、そこがだんだん終わってくるというところで後半に下がっているという部分もございます。

（委員）
　テナント収入が結構大きな財源になるという中で、これ以上にテナントさんを増やす計画、また遅延した時に食堂がいっぱいになってしまったりするケースが結構あったりで、そういったスペースを増やすとかそういう計画はありますか？

（申請者）
　テナントのスペースはもういっぱいです。ただ国際線の方には飲食ができるスペースというか、デスクというか、そういうのは置きたいなという考えはあります。

（委員）
　1階にカフェみたいなのが 1 つ最近できましたね。

（申請者）
プリズムエアさんですね。

（委員）
あんなスペースがあったのだって最近。

（申請者）
　今年度、指定管理の部分ではないんですけれどもの、1 階の到着ロビーにレンタカーカウンターがあるのですが、あのカウンターを外に出すための新しい建物をこれから作っていくと。そのカウンターの後をどう使うかっていうのを我々としても検討をしているということで、例えばそのカフェスペースをもうちょっと広げられないかとか、そういう検討は行っていくということになります。

（委員）
　ありがとうございました。